

## 【新潟県部会の運営に関するアンケート】

## 1. 希望する開催日時について御記入下さい（例年6月、12月に実施）

(回答)

- ・現状のままで良い
- ・7月、1月
- ・日程調整のうえ出席可能な日時であれば特に問題ない。ただし、当該年度に新規取り組みがある場合の決定時期は7月以降
- ・6月と11月下旬から12月。時間は午後をお願いします。
- ・例年通りでよい。ただしいずれも議会開催月と重なっているため日にちにより代理出席または欠席となる場合もあります
- ・5月下旬から6月、10月(ただし月末、月初めは除く)

## 2. 構成委員について見直すところがあれば御記入下さい

(回答)

- ・工業高校建設系学科は業界に入職する者が多いことから、担い手としてはその任を果たしているものと思う。就職する生徒の大半は普通科高校生であることから今後は普通科高校長を構成員にしてはいかがかと考えます

## 3. 率直に今議論すべき議事内容(テーマ、キーワード等)について御記入下さい

(回答)

- ・担い手確保のための効果的な活動方針(働き方改革を重視等)
- ・特にないが協議会発足時に取り扱わないとした「離職」について議論するのであれば、離職者と中途採用者の関係を明らかにする必要があると考えます
- ・建設系学生に限らない幅広い分野から担い手を確保するための効果的な取組について
- ・技術者としての担い手、技能者としての担い手 区別して議論しても良いと思います。また「建設業PR」「人材確保の有効的手段」等の具体の方策等、焦点を絞り議論してはいかがでしょうか
- ・普通科高校生への取組として学校側との連携体制はどのようにするのか。教育庁サイドとの調整の進捗状況
- ・建設業に対するPRの方法(例えば災害復旧の報道など、自衛隊・消防団は大々的に取り上げられるが、協力した建設会社、団体など一般的に陰に隠れている)

4. 合同企業セミナーなど、県部会として行う取り組みのメリット、デメリットは何かを御記入下さい

(回答)

- ・合同企業セミナーには参加していない(当協会員は地元企業及び中央企業の両方が会員となっている。中央企業は本社で一括人材確保を行っていることから費用負担が伴う場合、協会事業として実施することが困難のため)
- ・新潟県建設業界等の意見を尊重します
- ・合同企業セミナーを継続開催するのであれば会員からは参加可能企業数の増加要望がある。(R1の競争率は午前 2.5 倍、午後 1.5 倍で違いは参加校によるものと考えている)
- ・Made in 新潟との合同開催により、企業の先進的な技術のPRと合わせた業界PRが可能となっている。また学生には先進的な技術だけでなく、一般的な現場をイメージさせる取組も必要かと思う
- ・メリット: 県内に渡り、幅広く案内ができています
- ・メリット: 参加企業側への声掛けとして建設業の中の様々な分野の企業の参加が期待できる

5. 各機関の担い手確保の取り組みで人的協力や支援等を希望することはありますか。

(回答)

- ・活動資金が乏しいため予算面で支援していただければ大変助かる
- ・担い手確保に対応する人員や資金への何らかの支援は必要
- ・現行の厚労省や新潟県による助成・補助制度の拡充・継続をお願いしたい
- ・工業高校ではインターンシップやデュアルシステム、現場見学等を企業の協力で実施している  
今後も協力お願いします

6. 情報共有のため、本局HP内に担い手協議会HPを開設していますが、どの様に活用していますか？また、改善点を御記入下さい。

(回答)

- ・改善点は現在のところ特に感じていない
- ・担い手協議会HPの閲覧を増やしていくためのPRが必要
- ・インターンシップ情報の掲載のみを活用
- ・新潟県部会が実施する各種取組の日程把握
- ・議事録の確認。工業高校部会で情報共有をはかっている
- ・あまり活用する機会がない。幅広く周知することが必要と感じます
- ・イベント情報の充実(担い手カレンダーと書いてあってもイベント情報の在処がわかりにくい)  
インターンシップ情報と並べてイベント情報としてHP上に設定することはできないか

7. 担い手カレンダー等を外部サーバ化して、各協会や業者が直接入力出来るよう検討中ですが、例えば各協会間の情報共有プラットフォームや各協会が作成した建設業PRの資料・動画のリンクや調査物システムなど、その他追加検討した方が良い付随機能の案を御記入下さい。

(回答)

- ・事務局員がこの方面について知識がないため意見を述べるできない
- ・各ホームページで活動を紹介することで手一杯の状況です
- ・学生や就職指導の教諭や保護者が入手を希望する情報を掲載すべきと考えます
- ・各協会が作成した建設業PRの資料・動画のリンクがあるとよい
- ・カレンダーに記載された行事にリンクを貼り、その詳しい内容を見に行けると良いと感じます
- ・(上記6に関連して)プラットフォームにイベント情報や各協会(企業)のHP等のリンク、PRのための資料(例:業界で働く人のコラム等)をたくさん集め、建設業界の情報集約サイト(新潟版/北陸版)として活用する。サイトは企業セミナーや説明会で学生等にPRし、就職活動等に役立てて貰う

8. 従来の現場見学や講演会など以外の新しい情報発信ツールとして今後、SNSやYouTube等の有効活用が必須事項になってきていますが、県部会として取り組むべき内容について御記入下さい。

(回答)

- ・SNS や You Tube をやったことが無いため意見を述べるできない
- ・引き続き SNS 等での積極的情報発信を進めていくことが必要
- ・SNS や You Tube 等の情報発信ツールに繋がれた際に得られる特典等、魅力的なものにするための取組を検討すること(例 LINEの無料スタンプやダムツアーの割引特典)(新潟県)
- ・将来を担う子ども(小学生等)とその保護者(母親)へのPR、建設業の魅力を多く発信。子どもが喜ぶ、興味がもてるアニメ等の動画の配信
- ・広報の方法に工夫が必要。幅広く周知することが必要と感じます。全員に大きな負担にならないようにお願いしたいと思います

9. その他何か意見や提案を御記入下さい

(回答)

- ・新潟労働局所管の「建設・警備分野人材確保対策推進連絡協議会」と情報共有を図ることを目的に同時開催にするなど連携してみてもは如何でしょうか？

以 上

## 【合同企業セミナーアンケート】

### 1. 開催日時について

- ・ちょうど良い、別の月が良い等(具体的な月を記載下さい)

(回答)

- ・ちょうど良い

### 2. 周知時期について(今年は具体的な日時等を8月上旬に周知)

- ・問題ない、もっと早い方が良い等  
(開催日のどれぐらい前であれば対応可能か、具体的な月数を記載下さい)

(回答)

- ・問題無い
- ・開催日の4～5ヶ月前程度がよいと思う。また、会社数や出展企業名について当日まで連絡が全く無く、学生の事前指導に非常に困った。

### 3. 場所及び Made in 新潟展示会見学について (毎年同時開催のため、場所も同一)

- ・何か意見があれば御記入下さい。

(回答)

- ・Made in 新潟展示会の出展企業の方で可能な範囲で学生向けの説明や配布物などをして貰うのはどうでしょうか？

### 4. 内容について

#### ①セミナー企業について (今回は新潟県建設業協会所属の6社が説明)

##### 1) 企業業種

- ・建設業協会の業者でよい  
その他協会や業者もあった方が良い。(具体的に希望の協会等を御記入下さい)

(回答)

- ・建設業協会の業者でよい。地元企業を優先的に聞きたい。
- ・企業セミナーとは言っても建設会社のみではそもそも建設会社に興味が無い学生にはあまり参考にならない気がしました。他業界の方にも説明頂いた方が選択肢が広がると思います。

##### 2) 企業数

- ・丁度良い、変更した方がよい (±〇社程度)

(回答)

- ・ちょうど良い。6社で良いが、発表時間をきちんと管理した方が良い。

②時間について

1)全体時間(午前、午後それぞれ1時間)

・ちょうど良い、長い、短い等(時間の提案があれば御記入下さい)

(回答)

・ちょうど良い。

2)企業毎の時間(各10分)

・ちょうど良い、長い、短い等(時間の提案があれば御記入下さい)

(回答)

・ちょうど良い。

・幾つかの企業の説明が冗長的でしたので説明時間はもっと短くてよいと思います。建設業協会が話をするのであれば、業界全体の話を中心にし、各企業の説明は簡単にした方がよいと思います。

③説明内容について、良かった点や課題等を御記入下さい。

(回答)

・仕事の内容をイメージできた。

・各社の説明内容がかなり重なっていたり、逆に良いことしか言わない宣伝大会に終始している企業もあり、学生の参考にならない面もある気がしました。

5. バスの送り迎えについて

①バスの送迎は必須か？無くても参加可能か？

バスの送迎が必須の場合はどの区間の送迎が希望か？(駅から会場等)

(回答)

・バスの送迎は必要。学校から会場までをお願いしたい。

・バスの送迎が無いと参加できないと思います。またバスがあったとしても往復の乗車時間とセミナー内容のバランス等を考慮して、今後の参加は改めて検討したいと思います。

②今年度のバスの送り迎えでは特に問題が無かった、課題や提案あり

(具体的内容を御記入下さい。)

(回答)

・問題なし。

6. その他 (全て自由様式)

1)父兄など学生生徒への影響力が大きい方へのアプローチが重要と考えていますが、例えば父兄に対するセミナーの実施など効果的な対応について、御意見をお願いいたします。

(回答)

・父母宛にも文章を配布して案内する。

2) 担当教員に対して何か、行政や建設業側から情報共有した方が良い情報等について御意見をお願いいたします。

(回答)

・特に無し

3) その他要望をお聞かせ下さい。

(回答)

・特に無し

以 上

- 建設界の担い手確保のため、建設分野の仕事を知ってもらい、将来の進路決定の参考にしてもらうことを目的に、北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）主催で、新潟県下越及び中越地方の建設系の学生・生徒を対象とした合同企業セミナーを開催した。
- 合同企業セミナーには294名が出席し、12社の企業が建設業及び自社のPR、中小企業に就職する利点等を説明した。
- また、セミナーに参加した学生・生徒は、同時開催したMade in 新潟新技術（土木・建築）展示発表会も見学し、建設業に関する知見を深めた。

### 開催概要

- 〔日時〕 令和元年11月12日（火）9:45～14:45  
※午前後各1時間ずつ実施
- 〔会場〕 朱鷺メッセ 2階中会議室
- 〔主催〕 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）  
※同時開催：Made in 新潟新技術（土木・建築）展示発表会（県主催）
- 〔協力〕（一社）新潟県建設業協会

### 〔参加〕

- ①学生・生徒
 

新潟工業高等学校	建築科2年：78名、土木科2年：39名
長岡工業高等専門学校	環境都市工学科：39名
新発田南高等学校	土木工学科：37名
新潟県中央工業高校	建設工学科：30名
加茂農林高等学校	環境・緑地コース希望の1年生：41名
新潟工科専門学校	環境測量科：20名
	合計：294名（各学校の引率者計10名を含む）

### ②企業（12社）

- （株）小野組、丸連建設（株）、（株）皆川組、（株）水倉組、（株）中元組、（株）笠原建設（株）坂詰組、（株）興和、（株）福田組、（株）レックス、（株）大石組、（株）青柳工務店

※各企業10分説明。企業の選定は（一社）新潟県建設業協会の協力による。



合同企業セミナーの開催状況



Made in 新潟新技術（土木・建築）  
展示発表会の見学状況

## 「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 R2合同企業セミナー」 実施計画(素案)

### ■開催趣旨

平成30年度から実施している「Made in 新潟新技術(土木・建築)展示・発表会」に併せて実施した合同企業セミナーが、建設分野の仕事を知ってもらい、将来の進路決定の参考にしてもらおうと、関係者や参加学生から好評を得ていることから、令和2年度も同様の取り組みを実施し、建設界の担い手確保に繋げる。

- 開催日 : 令和2年11月24日(火) 9:30~15:00 ※変更の可能性有  
※県がMadein新潟新技術展示・発表会を同日に実施する予定で調整中の為

### ■開催場所: 朱鷺メッセ ※予定

- 「Made in 新潟新技術(土木・建築)展示・発表会」に併せて実施
- 展示・発表会 : 2Fメインホール
- 合同企業セミナー: 2F中会議室(シアター形式で最大約230名収容)

### ■参加者: 建設系(土木・建築)の大学・高専・専門学校・高校

【参加校および参加予定数:約400名(午前の部約200名+午後の部約200名)】を目標に以下学校に事務局から連絡する。

新潟大学建設学科、 長岡工業高等専門学校環境都市工学  
新潟工業高校土木科、建築科、 新発田南高校土木科、建築科  
県央工業高校建設工学科、 加茂農林高校環境緑地科  
新潟工科専門学校環境測量科

※普通科や保護者などの参加も検討すべきが要相談

### ■実施方法

- 午前の部と午後の部の2回、団体・企業等がプレゼンを実施(約1時間)  
合わせて展示会場見学(約30分)。
- プレゼンは、協議会会員団体や会員団体加盟の企業がそれぞれの業務概要等を紹介。  
(例:プレゼン10分/1企業×12企業=約2時間)

### ■参加学生・生徒の交通手段

- 合同企業セミナー主催側が貸上げたバスにより学校～会場間を送迎

### ■費用負担

- 必要経費: 約50万円 (内訳:会場費 約8万円、送迎用バス費約42万円、他諸費用)  
※参加校数が増加するとバス費用が増加する場合有
- 費用負担: 必要経費をプレゼン参加団体がプレゼン時間で案分し負担